

京のセントラルパーク、歴史と自然のストック

京都御苑の魅力を発信

京都御苑



NEWS

Kyoto Gyoen
National Garden
News

spring

春

第151号
2022.3.1

京都御苑ニュース

CONTENTS

- ▶ 園池成立秘話
- ▶ 京都御苑の春を歩く
- ▶ 御苑境界そぞろ歩き
- ▶ 学生コラム ー京都大学ー
- ▶ Information



京都御苑、閑院宮邸跡東門と満開のおオシマザクラ

江戸時代、京都御苑に当たる一帯は御所を取り囲む公家屋敷街だった。百四十軒程に及んだ屋敷も明治の東京遷都後は廃れたが、政府の「大内保存」事業を発端に整理され樹木を植えて公園化し御苑となった。御苑内には今でも当時の面影を宿すいくつかの遺構が存在している。閑院宮邸跡と九條邸跡に残る庭園の池の成り立ちについて、日本庭園研究者、作家である京都芸術大学教授の尼崎博正氏に伺った。

閑院宮邸跡と九條邸跡の 園池成立秘話

尼崎博正

京都御苑の南西部に閑院宮邸跡と九條邸跡（拾翠亭）の園池が東西に並んでいます。この二つの園池の成り立ちは奇遇としか言いようがありません。発端は宝永五年（一七〇八）三月の洛中大火でした。

大火後、禁裏（御所）への延焼防止策として榎木町通から丸太町通までの民家を移転し、北は烏丸通の蛤御門から西は丸太町通の堺町御門に至るL字型の「明地」が設けられました。この「明地」内に二つの園池が成立していく経緯をたどってみることにしましょう。

「明地」は火災復興のための作業場としても機能していました。のちに九條邸の園池となる「溜池」は土取場跡だと推測されますし（土取場願絵図）、「女院御殿作事小屋場絵図」には「溜池」の周辺に多数の作事小屋が描かれているからです。

この「溜池」が九條家のものとなつていく状況は、安永初期の絵図において確認できます。その年代は昭和五十八年（一九八三）の園池修復工事の際、滝口近くにある湧水跡の木枠のC14測定と年輪年代を合わせた推定値の一つ、一七八〇年ともほぼ一致しました。さらに天保十三年（二八四二）の図面からは、中鳥が築かれ、拾翠亭とおぼしき建物が配置されるなど、九條邸の園池として整備されていった様子が窺えます。

園池の構造が明らかになったのは、昭和二十九年（一九五四）九月から翌年三月にかけて行われた園池の浚渫および修復工事においてで



閑院宮邸跡の収納展示館を映す庭園の池。環境省事業により復元的に整備された

園池は描かれていません。その実態が露わになったのは平成十六年（二〇〇四）のこと、修復整備にともなって実施された発掘調査においてです。州浜護岸が検出されるなど、十八世紀中頃と考えられる作庭当初の構造と意匠が明確になり、その調査結果に基づいて復元的整備が行われました。このように防火帯が雲散霧消していくのと引き換えに成立した二つの園池ですが、明治

た。最深部で約一・七メートルの池底には地山の礫層の上に厚さ十〜二十センチの粘土が打たれ、その上に約十センチの砂利が敷かれていたといえます。特徴的なのは、池底から護岸石まで一抱えほどの大きさの川原石を積み上げるとい手法で、これこそ大内保存事業の「成功表」に記されている「池石垣」に他なりません。

一方、宝永七年（一七一〇）に創立された閑院宮家の邸宅が「明地」内の現在地に造営されたのは正徳六年（一七一六）頃のようにです。ただ同年の

「東山院御旧御殿用秀宮御殿指図」には建築のみで、



九條邸跡に残る茶室拾翠亭より九條池を望む。池の中央に高倉橋が架かる

維新後、さらなる変遷を経験することになります。地割と景観面に大きな変化をもたらした事柄を二つ挙げておきますと、まず九條邸跡園池では、大内保存事業の最終年にあたる明治十六年（一八八三）、池の真ん中に高倉橋が架設されたこと。御所の建礼門から真南に御幸道を丸太町まで貫くという計画によるものですが、遂に一度も使用されることはありませんでした。また閑院宮邸跡園池においては、大正大礼に備えて旧宮内省の福羽逸人が京都御苑を改修した際、無惨にも園池を断ち割つて、東半分をなくしてしまつたことです。嗚呼、惜しむべきかな。

（京都芸術大学教授）

京都御苑の春を歩く

—小宇宙・京都からの発信—

塚本珪一



建礼門前通りの黒木の梅

がある。私はそのことを知っているから、御苑に出かけて森の写真を撮影する。私の知る御苑の森の中でも石薬師御門から入った所の「母と子の森」には春のシンボルの希望を見つけることができそうだ。野鳥のための水場も整備されている。そこでは、冬の初めにアトリの♀と♀に出会った。

私は子どもの頃から御苑のすぐ側に住んでいたから、御苑は遊び場であり、昆虫観察の場であった。ある日、出水口を入ったところのテコン山の裏道で大きなカミキリ虫に出会った。そ

私の懇意にしていた出版社のMさんは、京都は「小宇宙ですよ」と教えてくれた。その言葉の真意をまだ自分のものにしていないが、御苑の森を歩いていると生き物たちのささやきが聞こえてくる。春夏秋冬と歩けば、金子みすゞさんの詩が、星の王子さまの声が深く聞こえてくる。そのとき、私は「自然は心で見る」ことになる。

御苑の春は爛漫、小さな虫も私たちが時を忘れ彷徨う。寒い冬は悲しく、暖かい春には自然



「母と子の森」の近くにあるカツラの古木

学生コラム

御苑のおオタカ

京都大学大学院農学研究科森林科学専攻修士1回生
環境デザイン学分野 田中 駿

京都御苑は野鳥の宝庫として知られる。春になると、母と子の森にはシジュウカラやエナガなどの愛らしい小鳥の親子が飛び交い、その名の通り新たな命をはぐくむ場となっている。初夏にみられる宗像神社のアオバスクも有名だ。

さらに、渡り鳥の休憩所としての役割も大きい。日本三鳴鳥の一角で、普段は山間部でしか見られないコマドリが、入ってきたときは、私も一目見ようと連日通いつめた。

そんな御苑に時折現れるのが、食物連鎖の頂点に立つオオタカである。古くからの貴族の娯楽の一つに「鷹狩り」があるが、そこで主に用いられた鳥でもある。強さと気品を兼ね備えたオオタカは、時代を問わず権力の象徴として扱われ、珍重されていたという。14世紀に内裏が置かれ、それ以降京の中心であり続けた御苑にそんなオオタカが現れるというのは、不思議な巡りあわせを感じずにはいられない。苑内で彼らに出会ったときにはそとと遠くから見守りつつ、かつてそこにいた貴族たちの営みにも思いをはせたいものだ。



苑内でドバトを捕食するオオタカ



堺町御門より丸太町通に面する店舗



黒田家所有の装束・道具類のミニチュア一式

結果のように自然に気持ちが変わる。こんなありがたい日常を過ごせるのも、御苑が特別な意

装束司としての晴れの場である葵祭・時代祭では自ら作った装束を着て、京都御苑南側の堺町御門から都大路へ巡行したものです。

その堺町御門の斜め向かい、丸太町通に面して店を構える当店の歴史は、江戸時代前期と伝承され、明治期に建てられた店舗にて丸太町通の道

幅拡張を経て今に至っています。私達の仕事は、皆様方にはあまり馴染みありませんが、十二単のような伝統的な服飾類を故実に則り調進し続けています。

常々、装束仕立ての現場から真正面に見える御苑の木々により季節のうつろいを感じ、御門をくぐれば、



明治～大正期の當座帳など

京都御苑堺町御門前での日々

御苑界限そごろ歩き

黒田幸也



十二単の仕立て作業の様子

味を持っているからでしょうか。

昔から御同業や職人さんは宮廷文化と縁深い御所周辺に多く、現在進行形として仕事も生活も京都御苑中心に回っているようです。

装束文化の裾野を広げようと、伝統や品格を保ちつつ身近に感じてもらえるような有職小物に女将が取り組んでいます。

株式会社黒田装束店 代表取締役
(株)株式会社黒田装束店
京都市中京区丸太町通堺町東入
鍵屋町六三
電話・075-211-8008
有職小物「堺町御門前 平七」
ホームページ：http://www.hei.jp/



シダレザクラとエナガ

のことは、私の自然への小さな感性を育ててくれた。また、白雲神社の暗い森ではヒオドシチョウの羽化に遭遇し、赤い血のような液を流す「フェアブル昆虫記」の場面を想いだした。

タイトルの「生態系のネットワーク」については、そう簡単なことではないが、生き物たちは実にうまくどこかで何かをとらえ、関係を持っている。それを見つけることも生物学・博物学の面白さである。私と野鳥の専門家・西台律子さんとはアオバスクの食物についての研究をほぼ完成することができ、私たちは十五年間の結果を二〇二一年に御苑からの論集に報告した。

私は御苑の森を求めて歩く。森は安らぎの場であり、多くの命との交換の場である。森に一步入れば、素晴らしい世界がある。ヘンリー・D・ソローは



アオバスクの食痕標本（昆虫の翅など）

『ウォールデン森の生活』で、「自然と同じようにシンプルで健康に生きてみよう」と話される。私は御苑の森を歩いていると、「日本の風景の原点」のような、京都でしか出会えない時を持つ。私たちは、春夏秋冬には「自然教室」のお手伝いをして歩く。植物、きのこ、昆虫、野鳥……と専門家が案内する。もちろん、共に歩く参加者の人たちは、色々と見つけてくれる。案内人は、「すごい、それは御苑では初めてですよ」などと……。それほどに御苑の自然は多様であり、嬉しくなる。もともと樹木などの圃場であったトシボ池も、今日では楽しいところとなっている。

暗い森から一步出ると、梅も桜も私たちを迎えてくれます。

(京都自然観察学習会)

■ イベントのお知らせ

※掲載の各種イベントの開催、京都御所などの公開については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため変更する場合があります。最新の開催、公開情報は各ホームページなどでご確認ください。

京都御所の通年公開

公開日：通年(事前申し込み不要/無料)
ただし、下記は休みとなります。
月曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)
行事等実施のため支障のある日
公開時間：3月/9:00～16:30(入場は15:50まで)
4～5月/9:00～17:00(入場は16:20まで)
入場門：御所清所門
アクセス：御苑北西角 乾御門より(地下鉄今出川
③出口 市バス烏丸今出川 徒歩8分)
お問合せ：宮内庁京都事務所 ☎075-211-1215

京都仙洞御所の参観

事前申し込みに加えて当日受付も行われています。
当日受付：京都仙洞御所にて11時頃から先着順に整理券を配布。(満員になり次第終了)
当日受付枠は13:30、15:30。
各時間とも定員は10名。
お問合せ：宮内庁京都事務所 ☎075-211-1215

京都迎賓館一般公開

日本の歴史・文化を象徴する京都で、海外からの賓客をお迎えし、日本への理解と友好を深めていただくための国の迎賓施設です。
公開日程：迎賓館のホームページでご確認ください。
参観料金：大人 2,000円 大学生 1,500円
中高生 700円
お問合せ：迎賓館京都事務所 ☎075-223-2301



京都迎賓館 庭園

京都御苑 自然ふれあいイベント

京都御苑 春の自然教室
日時：令和4年4月開催予定。
内容：春の御苑で見ることのできる生き物を観察します。
※詳細は決まり次第ホームページなどでお知らせします。



■ 苑内利用施設・サービスのご案内

※掲載の各施設の公開、サービス提供などの運営状況については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため変更する場合があります。最新の公開、運営情報はホームページなどでご確認ください。

閑院宮邸跡収納展示館/京都御苑総合案内所

京都御苑南西角の旧閑院宮邸跡地に建つ公家屋敷の風格残る旧宮内省建物の遺構です。展示室では京都御苑の歴史や自然を紹介しています。また京都御苑の総合案内所として、マップや苑内の見どころなど旬の情報を提供。
開館時間：9:00～17:00(展示室は16:30まで)
休館日：年末年始 ※展示室は月曜日閉室
アクセス：御苑南西角 間之町口すぐ(地下鉄丸太町①出口 市バス烏丸丸太町 徒歩5分)

—展示室リニューアル工事のお知らせ—
展示室は令和4年3月末まで閉室しています。

拾翠亭(茶室)

五摂家の一つであった九條家別邸の遺構で、茶室として江戸時代後期に建てられました。



—拾翠亭改修工事のお知らせ—
改修工事に伴い、令和4年3月末まで一般公開、貸切利用を休止しています。公開日・参観料金・貸切条件などについては決定次第ホームページ、SNSなどでお知らせいたします。

休憩所(レストハウス・売店)

休憩やお食事・喫茶にご利用ください。京都御苑オリジナルのお土産物を多数揃えています。
営業時間：9:00～16:30
中立売休憩所(「京都御苑 檜垣茶寮」)
京都御所前に位置し、御苑の木々に囲まれた「森の休憩所」です。中立売駐車場に隣接し、京都御所参観へのアクセスは抜群。セットメニューから軽食、カフェまで木の香る落ち着いた雰囲気の中でお食事ができます。売店「檜垣」では、御所限定のオリジナル商品を多数取り揃えています。
KYOTO-WiFi(無料)も利用可能。



御所の華弁当 右近の橋(刺身付き) (要予約)



@kyotogyoen_resthouse

富小路休憩所(御苑南東富小路口すぐ、テニスコート隣接) 現在無料休憩所として利用できます。今後新メニューでリニューアルオープン予定。
※詳細はホームページをご参照ください。

運動施設

富小路テニスコート(5面) 有料
富小路広場(6面) / **今出川広場**(3面) 有料
軟式野球・ソフトボールなどにご利用ください。
申し込み：(一財)国民公園協会京都御苑

駐車場

中立売駐車場(乗用車・バス併用/乗用車131台・バス16台)
利用時間：乗用車 7:00～20:00(24時間出庫可)
バス 8:00～17:00
料金：乗用車 800円(3時間まで)
当日最大料金 1,200円
バス 2,000円(3時間まで)
○夜間のバス利用について
利用時間：入庫 17:00～20:00 出庫 翌朝8:00まで
料金：1泊 3,000円
清和院駐車場(乗用車専用/81台)
利用時間：7:00～20:00(24時間出庫可)
料金：800円(3時間まで)
当日最大料金 1,200円
※詳細はホームページをご参照ください。なお、工事等により利用可能台数を変更することがあります。



京都御苑 Instagram / Twitter で桜の開花状況をチェック!



@kyotogyoen_info



@gyoen_info

※ 京都御苑における新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

■ 苑内のご利用に当たり次の予防対策にご理解、ご協力お願いいたします

- ・マスク着用、咳エチケット ・手洗い、手指の消毒
- ・ソーシャルディスタンスの確保
- ・密集回避のためレジャーシートを使用する際は、人との距離を十分に保つ



会員募集(2022年度)のお知らせ

2022年度(2022年1月～12月)の国民公園協会京都御苑会員を募集します。
■ 年会費
● 普通会員…………… 1,000円以上
● 賛助会員(会社・団体)…………… 10,000円以上

- 会員特典
- 1 京都御苑ニュースの送付
 - 2 申し込み年度の葵祭及び時代祭の観覧席招待券の進呈(ただし普通会員は会費4,000円以上の方に限ります。)
- 申し込み・お問合せ先
(一財)国民公園協会京都御苑



編集後記

コロナ禍による影響を受け、昨年は秋号と冬号をやむなく発行中止としたが、本春号から再開する運びとなった。春の訪れとともにコロナ事案が終息に向かい、京の祭りや人々の日常の営みが戻ってくることを読者の皆さまとともに願いたい。(発行人 池田善一)

企画・発行/お問合せ先

一般財団法人 国民公園協会 京都御苑
〒602-0881 京都市上京区京都御苑3
TEL 075-211-6364

編集 監修
白川書院 環境省京都御苑管理事務所

